

熊本信用金庫、崇城大学、コンセプトラボ（株）  
の地域社会発展のための包括的連携について

今般、上記 3 者は、崇城大学星合隆成教授が提唱する地域コミュニティブランド（SCB）の手法を用いて、地域活性化・コミュニティビジネスの創発を推進することを目的として、包括的な連携のもと、相互に協力するため、基本協定を締結する運びとなりました。

熊本信用金庫は、金融仲介機能を発揮し、地域経済の発展に寄与してきましたが、中小企業及び小規模事業者の経営課題は多様化してきており、金融仲介機能のみでは解決できない課題が多く存在しています。その多様化した課題解決に向けて、SCB 手法が有効に機能し、様々な課題が解決されることを期待するものです。

崇城大学・コンセプトラボは、新市街スタジオを中心に、SCB 手法を用いた地域活性化プラットフォームの構築を進めているところですが、新たに熊本信用金庫と連携し、信用金庫が保有する地域資源や様々な課題を共有することにより、地域活性化プラットフォームのさらなる醸成を期待するものです。

別紙の通り、幾つかの取組みはすでに始動しておりますが、今後の取組みについての説明を、下記の日時にて行いたく存じます。報道機関の皆様におかれましては、ご多忙中のことと存じますが、取材の労を賜れば幸甚に存じます。

調印式 日時：平成 29 年 4 月 24 日（月） 午後 2 時

会場：熊本信用金庫本店 理事長室

記者会見 日時：平成 29 年 4 月 24 日（月） 午後 3 時

会場：熊本市役所本庁舎 4 階 市政記者室

出席者：熊本信用金庫 理事長 品川 良照

崇城大学 学長 中山 峰男

コンセプトラボ（株） 取締役会長 星合 隆成

（その他、封筒デザインを担当した崇城大学学生 2 名同席）

お問い合わせ

熊本信用金庫 健軍支店

担当 戸沢 TEL096-367-1011

## ■熊本信用金庫、崇城大学、コンセプトラボ（株）による連携事例■

### <取組み事例 1>

熊本信用金庫が日々の営業活動の中で、顧客訪問時に「見積書のシステムを開発したいがどこか良い業者はいないだろうか？」との相談を受けた。

熊本信用金庫は SCB の活動を通じてこの課題を投げかけたところ、崇城大学生より「自分の技術力を熊本の企業の役に立てたい。」との返答があり、顧客へ話をしたところ、「技術力が劣ったとしても、その大学生がこれから社会に出て行く際の一つのステップアップになるのであれば、ぜひ共同で開発したい。もちろんそれなりの費用は支払う」とのことで合意し、現在課題解決に向けて開発が進んでいる。

人手不足が課題の中小企業にとって大学生と接点を持つことは将来的に人材（財）確保につながる可能性もあり、本件は有効な事例といえる。

### <取組み事例 2>

熊本信用金庫は、若年層の取り込みが課題となっており、そのために広報広告のあり方の見直しを検討してきた。特に人の目に触れる機会が多い、封筒や手提げ袋のデザインは 10 年以上も変更がなく、陳腐化しているものであった。

若い世代へのアプローチに有効なデザインはどのようなものかを SCB にて協議したところ、つながりの中で崇城大学生 2 名がデザインへの意欲を示したことから、学生がデザインを担当し、封筒の一新を図ることとなった。尚、封筒には SCB と担当した学生の名前も印字し、熊本信用金庫のホームページや広報誌を通じてこの活動を広く周知することとしている。

### <今後の活動>

熊本信用金庫は、日常の営業活動や相談業務の中で、地域資源（知的財産や特殊技術）に触れる機会が多く、場合によっては異業種交流などを通じてビジネスの活性化に取り組んできたが、限定的でその場限りとなっていた可能性もある。今後、崇城大学、コンセプトラボより、理論の提供を受けながら、構築されたプラットフォームへ地域資源と課題の提供を行い、多様化した課題を共に解決しながら地域活性化、地域経済の発展に寄与していきたいと考えている。